


## さつまる・ふくしまマルシェ初開催

6月24日、役場本庁でさつまる・ふくしまマルシェが行われ、町内4つの福祉事業所が生産している野菜や加工食品などが販売されました。障がいがある方の社会参加の場をつくる目的で、原則毎月24日に開催されます。事業所の利用者は「お客様の生の声が聞けてすごうれしかった。他の事業所の方とも交流できうれしかった」と話しました。

さつまる・ふくしまマルシェ ▶ 



ジャガイモなどの野菜や中華ちまきなどが販売されました

## 歯みがきで心と体を健やかに

薩摩郡歯科医師会管内（本町、薩摩川内市の一部地域）の小学生を対象とした「歯と口の健康週間」図画・ポスターコンクールが行われました。20校から選抜された158点の作品が寄せられ、金賞1点、銀賞2点、銅賞3点が選ばれました。本町からは、永野小学校6年の池山日葵さんが銀賞、中津川小学校4年の堂園里桜さんが銅賞を受賞しました。



池山さん



堂園さん

## 流水小で宇宙とつながる授業

7月6日、流水小学校でGIGAスクール特別講座「君も宇宙へ」が行われました。全国の小学生がインターネットで国際宇宙ステーションにいる宇宙飛行士と交信するもので、同校も26人が参加。星出彰彦宇宙飛行士による無重力での液体の動きの実演が行われました。6年の小川史恩さんは「宇宙食がパックに入っているのを初めて知りました。水が丸くなるのが面白かったです」と話しました。



無重力の宇宙で水はどうなるのか星出宇宙飛行士が実演

## 地域の力が犯罪や非行を防ぐ

7月2日、薩摩保護区保護司会の田中実会長が、社会を明るくする運動の内閣総理大臣メッセージを町長に伝達しました。7月は再犯防止啓発月間で、犯罪や非行の防止と更生についての理解を深め、犯罪や非行のない明るい社会を築こうとする全国的な運動です。安全で安心して暮らせる明るいまちづくりと、犯罪や非行をした人の立ち直りにご理解とご協力をお願いします。



田中会長（後列中央右）のほか役員7人が来庁しました

## 04 地域おこし協力隊通信

高校魅力化コーディネーターが薩摩中央高校の魅力を発信！



にしむら いりや  
西村 惟里也

引き続きバドミントンをしてくれる人を募集中！



かどのそ りお  
門之園 梨生

ピラティスに挑戦したい今日この頃！

### 元気をもらった出来事

ある店の駐車場で「せんせーい！」と背後から声が聞こえました。高校では生徒から先生と呼ばれていることもあり、振り返ると3年生の生徒が「テスト、先生の教えてくれたところできました！」とニコニコしながら話してくれました。生徒の言う「教えてくれた」というのは、私たちが校内で開設を進めている学習支援センターでの出来事。現在はプレオープン中です。話しかけてくれた生徒は、期末考査前に同級生と連日閉室間際まで勉強に励んでいた生徒でした。



私が教えた部分は、テストの数点分だったかもしれませんが、ただ、話かけてくれた生徒のうれしそうな笑顔に元気をもらい、生徒と関わることのやりがいを実感せずにはられない出来事でした。

### 学習支援センター

私たちの活動拠点でもある学習支援センターは、校内の一角の部屋を改装し、生徒が自主学習する場所としてプレオープン中です。正式な開設を目指し、空調設備の設置など快適な学習環境の整備を進めています。棚にある書籍は、役場職員を中心に寄贈いただいたもので、大学入試や就職試験対策用の参考書、辞書などが並んでいます。多くの方々の協力に感謝しながら、学習支援センターの正式な開設に向けて取り組んでいきます！



★ 高校の魅力、もっと伝えたい！



## ものづくり企業を高校生が見学

6月30日、薩摩中央高校の3年生を対象に企業見学会が行われました。町ものづくり企業振興会が企画し、同校の普通科、農業工学科、生物生産科から就職を希望する18人が参加。各企業の概要や製造工程などの説明を受け、農業工学科の森園圭司さんは「町内企業の見学は初めて。学校よりも複雑で本格的な機械を見ることができ、地元企業を知る良い経験になりました」と話しました。



機械の説明を熱心に聴く高校生

## 薩摩中央高生が災害ボランティア

7月14日、薩摩中央高校の生徒22人が求名地区の高齢者の住宅で災害ボランティアを行いました。令和3年7月豪雨によって土砂が流れ込んだ部屋から荷物を運び出し、泥のかき出しや清掃を実施。炎天下の中、泥だらけになりながらも懸命に作業を進めました。生徒たちは身を持って災害現場を知り、被災者に寄り添うことや助け合うことの大切さを学びました。



被害を受けた部屋から荷物を運び出す生徒たち



## ▶ 副町長に高田真氏が就任

7月6日、副町長の人事案件が提出され、高田真さんが町議会の同意を得て選任されました。8月1日から就任します。



ただ しん  
高田 真 副町長 (52)

### ■プロフィール

昭和44年6月2日生まれ。  
平成4年4月鹿児島県庁入庁。  
産業立地課企業誘致係長、畜産課長補佐、水産振興課長補佐などを歴任。

### ■ごあいさつ

この度、さつま町で勤務する機会を与えていただきまして心から感謝申し上げます。上野町長のもと、町勢発展のため、誠心誠意努力を尽くしてまいりたいと決意しております。

皆様方におかれましては、何とぞ格段のご指導、ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

## ▶ 新しい選挙管理委員の紹介

6月10日、選挙管理委員会委員の4人が町議会で選任され、互選により坂元満秋さんが委員長に選任されました。任期は令和3年6月17日から令和7年6月16日までです。また、補充員としては鎌田一仁さん、室屋満子さん、横山より子さん、櫛山扶美子さんが選任されています。



委員長  
さかもと みつあき  
坂元 満秋 さん



職務代理者  
やまぐち りょういち  
山口 良一 さん



はぎはら やすまさ  
萩原 康正 さん



まつお ひでゆき  
松尾 英行 さん

## まちのニュース

### みやまふれあいコンサート開催

7月21日、宮之城文化センターでみやまふれあいコンサートinさつまが行われました。ヴァイオリンの篠原悠那さんと北田千尋さん、ヴィオラの中恵菜さん、ピアノの青柳晋さんがクラシックを演奏し、多彩な音色で観客を魅了。ヴァイオリンの生演奏を初めて聴いた盈進小学校5年の柿村心咲さんは「弓の先ではじくようなヴァイオリンの弾き方が意外でした」と話しました。



篠原さん(左)、北田さん(中央)、青柳さん(奥)、中さん

### 美味しいブドウができました

7月20日、佐志地区で町ブドウ振興会が主催する収穫祭が行われました。同振興会では、収穫祭でハサミを入れたブラックオリンピアのほか、巨峰、ピオーネ、シャインマスカットなどを9人が2.6haで栽培。佐志保育園が収穫祭に招待され、年長の平田圭佑くんは「楽しかった。お父さんとお母さんと食べたい」と話しました。各観光農園や物産館などで9月末頃まで購入できます。



支えてもらい慎重に収穫



上手に切れました

### 外国人と共に暮らすまちづくり

6月15日、町多文化共生推進協議会が行われました。日本人と外国人が互いの多様性を認め合いながら良好な関係を築き、共に暮らせる社会の実現を目指す取組や計画が話し合われます。今回は、町内企業に技能実習生として勤めるベトナム人のリンさんとヒエンさんが参加。日常生活での困りごとや日頃感じていることなどを話したり、ベトナム語を紹介したりしました。



それぞれが感じていることを付箋に書き出しました

### 手作り罫でジャンボタニシ捕獲

6月9日、佐志交流館で町農林技術協会がジャンボタニシ捕獲用トラップ作製講習会を行いました。水稻を食害するジャンボタニシの防除が目的で、講師の横峯均さんがトラップの製作方法を実演。製作したトラップを5日間設置すると、6つのトラップで約320匹を捕獲できました。横峯さんは「トラップを多くの方に作ってほしいです」と話しました。



参加者の前でトラップを作る横峯さん

## ▶ 第一生命保険と包括連携協定締結

7月20日、第一生命保険株式会社と地域社会の発展や町民サービスの向上に関する包括連携協定を結びました。この協定は、健康増進や子育て、高齢者支援などの10項目からなり、幅広い分野で連携しながら地域振興につながる取組を推進するもの。同社の木戸伸治鹿児島支社長は「地域の皆様への恩返しを持ちを持って取り組んでまいります」と話しました。また、令和3年7月豪雨災害の支援物資として飲料水やタオルをいただきました。



木戸鹿児島支社長(右)と町長が協定書に調印しました

## ▶ 豎山さん 行政評価局長表彰

総務大臣から行政相談委員に委嘱されている豎山修啓さん(求名)が、令和3年度総務省九州管区行政評価局長表彰を受賞しました。豎山さんは、平成23年5月に委員に委嘱されて以来、10年にわたり住民の良き相談相手となって、広く行政に対する苦情や相談を受け付け、その解決のために尽力されました。豎山さんは「行政と町民との間に立って声を届けるやりがいがある仕事です。町民のためを思って続けてこられました」と話しました。



行政に関する知識を活かし町民に寄り添う豎山さん